

令和6年2月29日

カンボジア官民合同委員会結果概要

日時：2024年2月23日(金) 東時間 08:55-12:30

場所：国立技術訓練大学(National Technical Training Institute/NTTI) 4階会議室

参加者数：23名

政府(3)： 東 労働職業訓練省 職業教育訓練総局(MoLVT/DGTVET) 副局長(1名)
労働職業訓練省 職業教育訓練総局(MoLVT/DGTVET/DSC) 部長・副部長(2名)

日 厚生労働省 海外協力室室長補佐(1名)

訓練施設(4)： ITI(2名), NTTI(5名), NPIC(3名), PPI(2名)

援助機関(1)： JICA(2名)

民間(2)： Royal Group Phnom Penh SEZ PLC.(1名)、Minebea(Cambodia) Co., Ltd.(1名)

有識者(1)： SESPP(Skills Evaluation System Promotion Program) 事務局技術顧問

事務局(1)： JTB 霞が関事業部(2名) (別途、日東通訳1人)

1. 今年度の成果(SESPP 事務局)

(1)技能競技大会

・情報ネットワーク施工:競技課題採点・評価方法セミナー

2月5日～9日にNPICにて実施、受講者7名

・本邦研修:

技能競技大会の運営スキルの取得およびレベルアップを目標に厚生労働省・SESPP事務局からの講義、情報ネットワーク施工のセミナー、日本の技能競技大会の視察、訓練施設の視察、等を実施

参加者政府関係者2名、訓練校指導員4名

(2)技能検定

・電気系保全2級 技能評価トライアル SET

10月16日～20日、NTTIにて実施。受講者6名/受検者6名、合格者0名

・配電盤制御盤組立て2級 技能評価トライアル SET

10月30日～11月2日、ITIにて実施。受講者10名/受検者5名、合格者1名

・機械検査3級技能評価トライアル SET

2月19日～22日、NPICにて実施。受講者11名/受検者15名、合格者1名

2. 次年度実施に向けた提案(厚生労働省)

①SESPP事業の最終目標:

技能評価システム(技能競技大会・技能検定)を構築することにより、技能労働者の育成及び能力向上を図る。

②技能競技大会・技能検定の目標・活動

・技能競技大会・・・

目標:新たな技能競技種目の実施に向けた技能競技運営方法、採点・評価方法の習得

国内競技大会での情報ネットワーク施工職種の実施

活動:日本人専門家によるデモンストレーション・セミナー

技能競技委員の訓練、国内競技大会実施への支援

・技能検定・・・

目標:国家検定制度の構築、SESPP 協力職種のアセスメントセンター認定

活動:2023 年事業のフォローアップ (技能評価トライアル、技能評価者認定)

③2024 年度の事業実施案

・技能競技大会・・・情報ネットワーク施工

日本人専門家によるデモンストレーション・セミナー

技能競技委員の訓練、国内競技大会での情報ネットワーク施工職種実施への支援

・技能検定

2023 年度事業のフォローアップ(配電盤制御盤組立て SET/SAC、電気系保全 SET/SAC、機械検査 SET/SAC)

カンボジアの国家検定制度構築への協力

3. 官民合同委員会での主な意見

(1) 各訓練校からの発言(PPI、ITI、NTTI、NPIC)

・2022 年度にシーケンス制御 2 級 SET/SAC を実施し、7 名の認定評価者が誕生した。次年度は 1 級の実施を希望する。(PPI・Chy Vanny 電気工学部長)

・配電盤制御盤組立ては 2016 年より開始し、今回で 6 回目となる。本年度は 2 級の SET を実施した。次年度は評価者認定 SAC を実施してほしい。(ITI・Sreyrov サービス・プロダクトオフィス責任者代理)

・昨年度より電気系保全 2 級を開始。次年度も本職種の研修を継続してほしい。

(NTTI・Kem Sam Ath 電気系訓練指導員)

・機械検査 3 級は本年度 2 回目で、SET を実施。次年度の機械検査の継続と機械製図 CAD 作業、旋盤、フライス盤職種の研修の実施を希望する。(NPIC・Chhour Vongchivorn 氏)

・情報ネットワーク施工の技能競技大会セミナーを実施。カンボジアで国内技能競技大会を実施するために必要な競技者の指導方法、大会の管理運営方法を学んだ。次年度の情報ネットワーク施工の継続を希望する。

(NPIC・San Sokna 課長)

(2)カンボジアでの今後の支援職種について

・新たに制定された労働環境と人材育成に関する法律で、カンボジア政府は 2024 年から 2028 年の5年間で 75,000 人の労働者を対象に技能評価を行うことになった。それに伴い、アセスメントセンター、評価者も増やしていかなければならない。また新たに制定された法律に伴い、DGT VET 内の手続き方法が変わり、海外の ODA は全て事前に国際協力部(Department International Cooperation Organization/DICO)に申請して、審査を受けることになる。MOU を締結後、今まで通り DSC が実務の窓口となる。

※厚生労働省から、「MOU を結ぶとなれば省内手続きや外務省における手続きが煩雑になり、本事業のハードルが上がる。」との意見に対して、「署名者のレベルについては日本側の要望に合わせて調整することも可能。」と回答があった。

- ・新しい窓口組織(DICO)の担当者と SESPP 事業に望む要望事項は、3 月 7 日までにメールにて連絡する。
- ・SESPP には 4 訓練校と連携して、新法案に即した形での研修の実施をお願いしたい。
- ・情報ネットワーク施工は、2024 年度はカンボジア国内技能競技大会で模擬競技を実施、2025 年度に WorldSkills ASEAN フィリピン大会へのオブザーバー参加、2026 年度にはカンボジア国内技能競技大会での正式競技種目として採用、2027 年の WorldSkills ASEAN インドネシア大会への参加といった計画を立てている。
- ・2024 年度の国内技能競技大会での模擬競技を実施する際には、資材類の協力をいただきたい。
(以上、MoLVT/DGTVET/DSC・Teang Sak 部長)
- ・次年度の技能検定 3 職種は、SET と SAC を実施する予定である。
受検者には事前に予備講習を行ってほしい。特に企業から参加意向があった場合には、事前に実技試験のやり方を指導してほしい。本年度で言えば、予備講習を受けた訓練校学生10名のうち7名が実技試験に合格したが、事前講習を受けなかった企業からの受検者の合格は出なかった。(SESPP 技術顧問・稲川氏)

以上